

令和2年度 介護保険特別会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 地域支援事業費	大事業	2. 生活支援体制整備事業
項	3. 包括支援事業・任意事業費	中事業	
目	1. 包括支援事業費	担当所属	高齢者福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	補助	計画	0	0	26,956	第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり	平成28年度	-
						基本施策4 高齢者支援の充実	平成29年度	-
						施策3 多様な生活支援サービス提供体制の整備を推進します	平成30年度	-
							平成31年度	-
							令和2年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	21,429	
本年度当初査定額	21,045	27,332

財源内訳	国庫支出金	県支出金	繰入金			その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0	0			21,429	△21,429
本年度当初査定額	10,523	5,261	5,261			0	6,287

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、生活支援等サービスの提供体制の整備を図ります。</p>	<p>(事業の目的) 単身高齢者や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、高齢者クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、生活支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。</p>	<p>(事業の効果) 高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 生活支援等サービスの提供主体同士が、情報を共有し、連携強化を図るための場となる協議体(各日常生活圏域5カ所)と同様の組織が存在するため、連携を図りながらすすめる必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	90	90	0
08	10	10	0
10	207	707	△500
12	27,025	27,005	20

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	04	02	02	01	01	00	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	10,715	10,523	10,708	△185
	06	02	02	01	01	00	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	5,357	5,261	5,354	△93
	08	01	03	01	01	00	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	5,357	5,261	5,354	△93
差引一般財源								△21,429	6,287	△21,416	27,703